



東海米工会総会が開催され、4年ぶりの県外米工会総会が全て終了しました。

卒業生に聞くデジタル時代

2月3日(土)に名古屋市内で東海米工会総会が開催されました。総会には関東米工会、関西米工会の会長も参加されたことに加え、東海米城会(米子東高校同窓会)、東海かしのは会(境高校同窓会)の代表の方も参加していただき賑やかに懇親を深められました。

参加された皆様の報告の中には、同窓会ネットワークや県人会ネットワークを仕事に活かして良いご縁をいただいているとの報告がありました。また、働いているときには明日の予定も立たないほど忙しくて活動に参加できなかったものの、同窓会からの連絡に仲間として見てもらっていることを嬉しく感じていたと回顧される場面もありました。退職後は総会に参加され、仲間のありがたさを感じているとのことでした。

どこの同窓会も会員減少の問題を抱えています。対策として、お互いの身近にそれぞれの同窓生がいたなら、学校の枠を超えてお互いの同窓会を紹介し合い会員を増やすことが提案されました。県外では同窓会のネットワークによるつながりが仕事でも私生活でも特に有意義であることを皆さんが感じていらっしゃいました。

4年ぶりに集まったの総会となりましたが、役員の方々はコロナ禍の間はZOOMで打合せを実施していたそうです。70代、80代の方々も積極的にICTを活用していらっしゃることに、さすが米工卒業生と感心しました。

印象深かったのは大手企業で現役社員として働いていらっしゃる卒業生の方からの報告でした。これまでは上司が自分の経験を元に部下を指導していたのが、デジタル時代を迎え、ICTの活用に関しては上司にも経験がなく、この面については指導が難しいということです。このような現状を伺うと、これからの若手社員がデジタル技術を活用して仕事を進める上では、正解を上司に求めるのではなく、同年代のネットワークで自己研鑽に励んだり、社外での研修会に自ら参加して技術技能を高めて解を導き出す必要があると感じました。卒業生からは、あらゆる業種でデジタル技術を活用する必要があるので、高校でICTの活用方法を学んでおいて欲しいとのメッセージでした。

校長 松川 明義



【行事予定】7日(水)：公開人権教育 LHR 建築士会表彰式

今週の大会 スキー部：インターハイ (富山)

バスケットボール部：中国新人(山口)

バレーボール部：中国新人(広島)



米工 HP